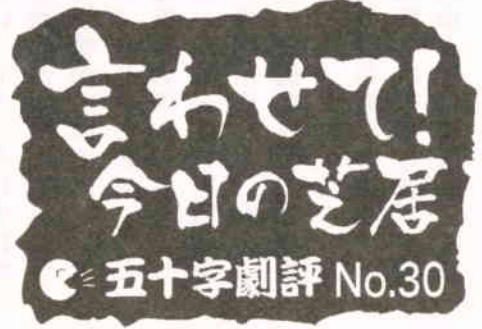


On7 その頬、熱線に焼かれ



▼久しぶりに芝居らしい芝居に出会えた。若い役者さんたちの果敢な挑戦。7人でこの芝居のことについてかなり話し込み相対練り込んで舞台上げたと感じ。智子さんの泣き声は彼女がただ皆に対して優しいだけじゃなく、本当は私も生きたかったという抑えきれない心の声、失われた数多の魂の無念の声として響いてきてとても切なかった。

これからも良い芝居を創ってほしいし今後に大きな期待もてる役者さんたちだと思う。

(女性)

▼芝居を見て帰宅すると、十五才のとなりの娘さんに会い、その白い顔を見て涙が…にじむ。no more 広島。(女性)

▼作品が、演出が、そして七人の女優陣が良かったです。全てが一つになって、静かな感動に包まれました。素晴らしい舞台でした。

(女性)

【六〇代】

▼八月六日。広島。原爆。青春。家族。友情。生活。ケロイド。命。死。日本。アメリカ。希望。未来。愛。(女性)

▼原爆を扱った作品でケロイド治療に焦点を当てた作品は観てなかったのでそこは良かったが、話がいつまでも堂々めぐりしていて、つまらなかつた。もう少し脚本に工夫があれば良かった。(女性)

▼登場人物でアクの強い女性。

職場にも居ます。その扱いを、アドバイスしてもらった感があります。

(女性)

▼とても待ち遠しかった！劇団の枠を超えた女性だけの演劇ユニットOn7。彼女たちが原爆乙女に挑んだその決断を称えたい。揺れ動く心の表現がとても難しいお芝居、だと思う。悲しみ、不安等を抱えながらもやっぱり生きたい、幸せになりたいと思う乙女心、とても切ない。終わりにちか

(女性)

い智子の慟哭のシーン。心のふるえがとまらない。やりきれない…。理不尽。この思いをもう一度胸に刻みなおしたなぜ？話は今に続いているから。思いは託された。扉の向こうに見え隠れする戦争の影。沈黙は許されない。失われた日々は取り戻すことはできないから…。(男性)

▼広島に原爆が投下され、七

に、あの悲劇を日本人として忘れてはならぬことを思い出した。実話に基づく原爆乙女たちの悲劇と再生の物語は、私自身いま生きている意味を考えさせてくれました。(男性)

(男性)

▼原爆乙女と呼ばれた方たちがいたことを初めて知りました。平和の尊さを、改めて子ども達にも伝えたいです。

(女性)

▼原爆乙女など知らない事が多い戦争の話で勉強になりました。もっともつと平和を唱えていかなければと思います。▼残念なのは台詞がよく聞こえなかつた！やはり重い重い芝居でした。一日も早く核兵器に悪魔の烙印を、政府は条約を結んで!!(女性)

▼セリフ劇に終始した今回の芝居。淡々と進行する出演者のセリフ・演技に完全に集中できた。そして、終盤の智子(安藤瞳)の嗚咽のシーンに収斂する素晴らしい舞台

だったと思う。On7(オンナナ)の「パトンを繋ぐ」という想いにとても共感できるし、脚本・演出家も含め気鋭の彼ら・彼女たちに今後も期待したい。(男性)

▼セリフ劇と聞いていましたが、まさか舞台が前に傾いているとは思わなかった。ほとんどその場に立つたままか椅子に腰かけ、休憩なし2時間すごい、内容も体験していない私には、想像しても想像しきれない。でも、それぞれの女性が前向きに生きていこうとする姿勢が前面に出ている何かほっとしました。(女性)

▼原爆被害者当人の女性としての思い、心の揺れを垣間見ることが出来まして、胸のつまりる思いで観劇させて頂きました。

▼智子の終幕近くの慟哭に、彼女の切なさ、悲しさ、無念さ等の様々な思いを感じて泣けた。(女性)

▼戦争は経済を活性化すると言う人もいますが、平和が一番、平和呆け大いに結構と思わせてくれる舞台でした。

▼十代だった彼女たち、否、赤ん坊も、年寄りも・・・無差別に、彼女たちの思いはどんな言葉を使っても言い表せられない気がします。戦争は人災、だから避けられるはず。On7の皆さんの熱演でヒロシマガールズに希望を見ました。忘れてはいけない。私もできることをやらなければ。(男性)

▼寝不足のため、度々居眠り。「対話劇」は言葉の聞き取りが大切なのに・・・その代わりパンフを買う気になり、学べました。(男性)

▼大事なメッセージが伝わらないのは残念でした。もう少し舞台いっぱい空間で大きな演技で表現してほしかった。

【七十代】

▼前日にテレビで同じような「悲惨」な様子を見て、改めて戦争は絶対ダメだと生きてる限り言い続けよう。 (女性)

(微妙な心の動きを感じたかった) オンナナの歴史を伝えてゆく姿勢に期待しています。(女性)

▼だんだん風化しつつある戦争を忘れてはいけない。どんな想いで渡米したのだろうと思うと気がつまり心がすくみます。(女性)

▼夢大きく、若くピチピチしているはずの彼女たち。傷だけでなく、心も人とのつきあひも苦しめられる。核兵器廃絶を！(女性)

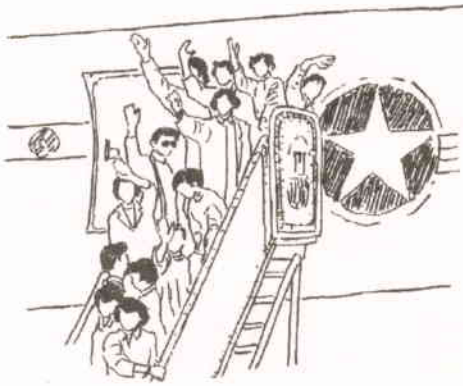
▼観ていて辛くなりました。心のどこかが痛みました。私知らなかった原爆の真実でした。七人の演技は生き生きと素晴らしかったです(夫と姉と三人で観ました。良かったです)。(女性)

▼前日にテレビで同じような「悲惨」な様子を見て、改めて戦争は絶対ダメだと生きてる限り言い続けよう。 (女性)

芝居を観せて貰える市劇に今後も期待している。若い女性の痛々しい心情が伝わって来た。

▼化学が発達したおかげでこんな悲しいことが有ったのですね。ケロイドの女の人々は大変な思いをしている人の気持ちが良く分かりました。(女性)





▼見ないで済むものなら見たくない。でも若者が舞台で懸命に演じている。台詞の聞きとりにくいのは私の耳のせいかな？少し残念。(女性)

▼台詞が聞き取れない。更に冷房が強すぎる。落ち着かない例会であったが、ヒロシマ、ナガサキを、より広め、核兵器廃絶を訴えていかななくてはという意志は強まった。(女性)

▼重たくてつらかった。

▼終戦になってから、あの様なことがあったのを初めて知りました。今後、二度と戦争が行われず、平和な世界になることを祈念します。

▼女性だけの演劇がめずらしかったです。私達には身近に原爆の被害者がいないので大変だったのだと知らされました。(女性)

▼私は原爆乙女の話を知るといつでも米国のずるさを感じます。米国は、日本に原爆を落としてはじめて原爆のすごさ、怖さを知ったのではないかと。そして、被爆した女性を治療することで更にガンマ線の影響も知ったのだと思います(データを得るために治療した)。被爆二世、被爆三世、もしかしたら四世も、いつまでも、被爆の影響を気にしながら生きていく人達の大変さを、戦後七三年たった今も、

【年代不明】

(女性)

忘れてはいけけない。私、そして誰でも。(女性)

【性別・年代不明】

▼普通の台詞が聞こえないのが残念でした。こんな舞台は永年観ていて始めてでした。題名もびんとこない残念。

▼女性だけの登場人物という特殊な状況をマイナスを感じさせない演技・演出が見事な心を通い直してくれた。

編集スタッフから

数多くの名作を遺した井上ひさしさんが、こんなことを言っています。芝居を観ている時間は、「時間としてのユートピア」が成立している。宇宙始まって以来唯一の座席の組み合わせの中で、観ている人たちが思いを共有する。これがユートピアなのだと言っています。あなたも、このユートピアの中で感じた思いを、ぜひ劇評集に投稿してください。

50字劇評「言わせて！今日の芝居」に投稿を！

ここは、会員が「芝居を自由に語る場」です。率直な感想をお寄せください。

署名 “不審” です。編集の都合上、「男女」・「～歳代」は記入を！

字数 “50字” を目安として、思いの丈をお寄せください。

締切 2018年10月19日(金)